

広報 あかいけ

60年

3月

No.266

発行所 赤池町役場 編集 総務課 文書広報係 ☎(代表)28-2004
 印刷所 赤池印刷 毎月1回発行



地域づくりは自分たちの手で

▶毎週2回、町部・中尾地区を
パトロールする12支所のみなさん◀

明るい地域づくりをめざして、12支所地区公民館（早谷孝館長、133世帯）では、町部を中心に毎週2回、夜警を行っています。

空巢の被害を受けたり、車のガソリンを抜かれたり、青少年の夜間外出など環境悪化が目立っていた昭和56年。地区公民館活動の一環として、『青少年の健全育成のためにも、自分たちの地域は自分たちで守ろう。』と始められました。

毎週2回、深夜に町部を中心に中尾地区までパトロール。雨の日は車で上野地区まで足を伸ばし

ます。

今では、環境浄化だけでなく地域の活動や課題を話し合い、コミュニティーづくりの場としても定着してきました。

世話人のひとり、久原弘さんは、「こういう地域づくりの輪が全町に広がってほしい。」と話しておられました。

なお、他地区でも同様の、あるいは学校の休み期間中に取り組んでいる所もあるようです。

(とじて保存してください)

今年にみる広報紙

今年度の(昭和59年4月から60年3月まで)広報紙から、主なできごとを月別に、拾ってみました。

紙面の都合により当該月に掲載できなかったものの中にも、例年にないできごとがたくさんありました。

引き続き赤字財政の中、限られた財源をいかに使って、どれだけの効果をあげられるかは、今、地方自治体に与えられた最大の課題ですが、こうして振り返ってみると、年ごとに効果を上げているもの、世代のパワーに頼らざるを得ないもの、いろいろあるようです。



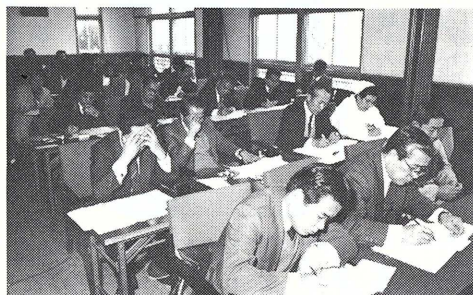
赤池町出身で、名誉町民でもある前自民党幹事長、田中六助氏が31日亡くなりました。62歳でした。
産炭地浮揚など多くの政治課題を抱える今日。町にとっても国政との大きなパイプ、大黒柱を失ったこととなります。

1月 田中六助氏が死去



町内の目の不自由な方のため赤池町社会福祉協議会は、町の広報紙を朗読し、録音テープに入れ、無料で自宅へ届ける制度を始めました。貴船の丸山鈴子さんがボランティア活動で協力されています。

10月 声の広報を開始



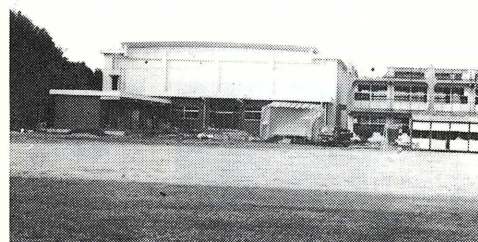
2月 第2次総合計画策定へ体制づくり進む

個性と魅力あるまちづくりのための長期計画、第2次赤池町総合計画の体制づくりが進んでいます。
役場内に策定委員会が組織され、6つの分科会に分れて、基本構想、基本計画、実施計画が策定されます。



赤池町のイメージアップをはかり、町に潤いを与えようと町民文化祭の一環として、商工会主催で行われた「84ミスほほえみコンテスト」、ミスに増田さん、準ミスに長崎さん、和田さんが選ばれました。

11月 ミスほほえみコンテスト 増田咲子さんに栄冠



赤池中学校体育館が全面改築されています。1億4,500万円をかけ、建物面積1,063㎡で移動式ステージやクラブハウスなどを備えた近代的体育館です。今年の卒業式は新しい体育館で行われる予定です。

3月 赤池中 体育館を全面改築



12月22日「蒼い会」の若者が町内の子どもたちをクリスマスパーティーに招待しました。フォークダンス、クイズ、ゲームなどで楽しく遊び、最後はキャンドルの集いでクリスマスの夜を満喫しました。

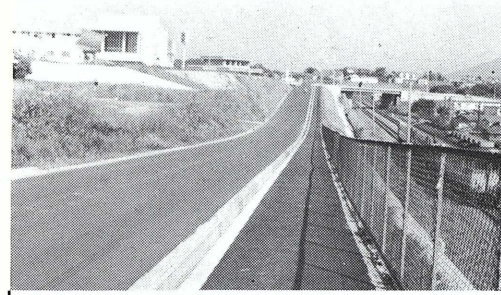
12月 蒼い会が クリスマスパーティ

度の主なできごと

故田中六助氏の地元あての遺書に『少年のころから眺め暮らした香春岳や福智山、悠然と流れる遠賀川の瀬音、本当に故郷の山河は懐かしく思い出の尽きないものがございます。』とあります。

懐かしく思い出の尽きない、かけがえのない故郷を守り育てるのは、私たち、そこに住む一人ひとりの力です。

明るいまちづくりを進めるためにも、みんなで知恵を出し合い、21世紀へ続く活力あるまちを創造していきましょう。



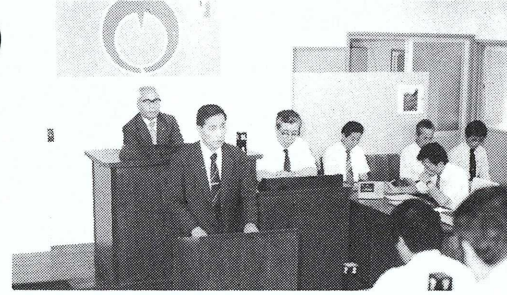
赤池駅西側から商工会前へ通じる町道二反ヶ浦～松本線が7月23日供用開始されました。建設省道路局の補助事業で同和対策事業の適用も受け、総工費2億4,000万円。昭和55年度からの五カ年事業として実施されました。

7月 町道二反ヶ浦 松本線開通



4月14日から3日間行われた第11回上野焼陶器まつりは好天にも恵まれ1万3千人以上という過去最高の人出を記録しました。
国の伝統的工芸品の指定も受け、観光客も広域化。上野焼新時代の到来を感じさせます。

4月 陶器まつりに 過去最高の人出



8月 町長選挙 池永町政がスタート

7月29日に投票が行われた町長選挙で、池永輝昭氏が当選。『将来に夢を、行政に活力を』という大きなテーマで池永町政がスタートしました。



5月 赤池保育所 上の原に新築移転

赤池保育所が上の原に新築移転されました。同和対策事業などの適用を受け、総工費1億2,200万円、874㎡の近代的建物。
5月17日、近くの人も多数つめかけ落成式が行われました。



9月 みなさんの善意で 福祉バスを購入

赤池町社会福祉協議会の福祉バスが、多くのみなさんの資金援助で新しくなりました。『ふれあい号』と命名され、お年寄りの足として大活躍しています。



この月、町が現在売り出している赤池ニュータウンの売れゆきがどんどん伸びました。これは付近に住宅が増えたこと、住宅公庫の融資が5月に行われたこと等によるものと思われます。

6月 赤池ニュータウン 売れゆき順調